

開幕直後より話題を呼んでいる
今津景、初の大規模個展を
全収録した
展覧会図録にして初作品集。



今津景 タナ・アイル

Kei Imazu Tanah Air

3月初旬 一般発売
定価: 本体3500円 (税別)



今津は、インターネットやデジタルアーカイブといったメディアから採取した画像を、コンピュータアプリケーションで加工を施しながら構成、コラージュ的な重層性とデジタルの痕跡を残すようなその下図をもとに、キャンバスに油彩で描く手法で作品を制作しています。

2017年からインドネシアのバンドンに制作・生活の拠点を移した後は、インドネシアの都市開発や環境汚染といった事象に対する実地でのリサーチをベースに、現在起きている問題の直接的な表現にとどまらず、さまざまなアーカイブ画像を画面上で結びつけ、さらに歴史や神話、生物の進化や絶滅といった複数の時間軸を重ね合わせることで、普遍性とダイナミズムが共存する作品へと発展させています。

「タナ・アイル」と名付けられた同展は、インドネシア語で「タナ (Tanah)」が「土」、「アイル (Air)」が「水」を指し、二つの言葉を合わせると故郷を意味する言葉です。現在生活するインドネシアと自身のルーツである日本という二つの土地での経験と思考にもとづく今津の作品は、鑑賞する私たちの足元、自らの生きる場所や時間についても考える契機となることでしょう。

本書は、近年の作品を軸に5つのテーマにより構成された本展覧会を、写真家・木奥恵三が写した会場風景を中心に、追体験/アーカイブする貴重なカタログです。図版ページは袋とじが施され、軽やかな印象を持ちつつも、エッジの効いた仕様となりました。

◎書籍概要

執筆: 今津景 / 瀧上華 (東京オペラシティアートギャラリー キュレーター) / カルロス・キホン・ジュニア (キュレーター)
展示風景撮影: 木奥恵三
デザイン: 米山菜津子

A4判 (220 x 297 mm)
ソフトカバー / 176ページ (図版ページ=袋とじ)
テキスト: 日本語 / 英語

◎展覧会

今津景 タナ・アイル
会期: 2025年1月11日 (土) - 3月23日 (日)
会場: 東京オペラシティ アートギャラリー

◎今津景 Kei Imazu

1980年山口県生まれ。インドネシアのバンドン在住。2007年に多摩美術大学大学院美術研究科を修了。2009年「VOCA2009」佳作賞、2013年絹谷幸二賞奨励賞を受賞。国内では、「六本木クロッシング2019展: つないでみる」(森美術館)や、「あいちトリエンナーレ2019」などの展覧会に参加。2020年フランスの「Prix Jean François Prat」ファイナリストに選出され、2022年には「ドクメンタ15」に参加。2024年には、「チャンウォン・ビエンナーレ」(韓国)、バンコク・ビエンナーレ(タイ)に参加するなど、国内外で大きな注目を集め、精力的に活動を行っている。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名 (番線印) 注文数 ご担当: 様	HeHe www.hehepress.com mail: info@hehepress.com	返品条件付注文扱い 返品了解: ツバメ出版流通 川人
	<h2>今津景 タナ・アイル</h2>	
		ISBN978-4-908062-63-6 C0070 定価: 本体3500円 (税別)